横浜市立相沢小学校

学校だより

９月号

R2.8.31

実りの秋に向けて

校長　海老澤　孝代

空を見上げても夏雲が広がり、連日暑さ指数計は３０以上を示しています。熱中症にも気を付けながらの生活は当分続きそうです。そのような中で、５年生が栽培している稲に花が付きました。新しい生活様式、そして制約がありますが、稲穂が大きく実るように、子どもたちの良さを伸ばし実り多い秋となるように努めていきます。

今年度本校は「読みのスキル向上推進校」として、一人一人の読みの苦手なところを低学年の早い段階で把握し、効果的な指導・支援を行う『MIM』という学習方法を取り入れて研究を進めています。学年が進むに従い、文章内容を的確に理解し問題を解決していく力が求められます。そのためにも「読みのスキル」を上げていくことが必要と考えています。絵や動作を使って言葉を理解したり、早口言葉集や言葉カードを活用して日常的に用いる語彙を増やしたりしています。読むことの困難さを改善し学習の基盤を整えることで、学力向上を目指します。どちらかというと国語が苦手、本を読むことが好きではないという児童が、少しでも読むことを楽しめるようになったらと願っています。

もう一つ「SDGｓ達成の担い手育成（ESD）推進校」として、総合的な学習の時間や生活科を核とした教育課程編成を行い、学校のみならず地域も含めた活動に取り組んでいきます。身近なところから社会に目を向けて視点を広げ、多様性を尊重し自ら行動する力を育んでいきたいと考えています。この取組は、今まで相沢小学校が行ってきた『人と人との関わり』から相手を思う気持ちや生き方を学ぶ、『地域とのつながり』をもつことでまちを愛し役に立ちたいという思いを活かしていくことができると考えています。早速６年生は横浜市役所と連携した取組を行い、『間伐材シートを活用したストロー作り』を体験しました。この体験や今まで調査したり情報を集めたりしたことから、自分たちにできることはないかと次の活動に広がっていくことを期待しています。今後、関係機関や環境ジャーナリストの方などとのリモート授業にも取り組んでいきます。秋に向かい、子どもたちの活動が実を結ぶことを願っています。今後とも相沢小学校の教育活動へのご理解ご協力をお願いいたします。

学びあい　認めあい　支えあい
夢をはぐくむ　あいざわっ子